

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

ブランドプロミス&スローガン

感性に響く価値を創り出し、心豊かな未来に挑む

ROE
10.0%以上ROE
8.0%以上売上高
3,600億円営業利益
230億円

② 中長期の経営戦略

1. 高収益既存事業群への変革

既存事業を成長事業・収益基盤事業・構造改革・戦略再構築事業に分類し、各位置付けに応じた戦略を推進。成長事業拡大と収益基盤強化を図る

2. 戦略的重点事業群の創出

モビリティ・バッテリー分野とディスプレイ・先端エレクトロニクス分野に資源を集中し新たな収益の柱を創出。2030年以降は環境・バイオ・エネルギーを次世代事業に位置付け

3. 経営基盤の変革

ESG観点の経営資源強化。人的資本強化・風土醸成・資本コスト意識経営に注力。AI実践展開・情報セキュリティ強化・DX推進でスマートファクトリー化を進める

③ 対処すべき課題

① 色材・機能材関連事業

- ・液晶ディスプレイ用材料のシェア向上と市場ニーズ対応力強化
- ・車載用リチウムイオン電池材料の生産体制維持と製品構成拡大
- ・全固体電池など次世代技術開発の推進

② ポリマー・塗加工関連事業

- ・ディスプレイ用光学粘着剤の生産能力増強とサプライチェーン最適化
- ・缶用塗料のグローバル拠点ネットワーク強化とシナジー創出

③ パッケージ・印刷関連事業

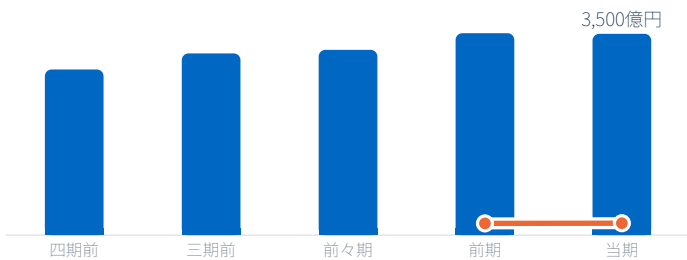
- ・トルコ新工場をトルコの中核拠点に、ラミネート接助剤事業を拡大
- ・インド市場成長と生産能力増強への投資
- ・国内市場での省人化・自動化による効率化と環境対応製品の開発

面で使えるポイント

- ・2024年にartience株式会社に商号変更し、artとscienceを融合した新理念体系で感性に響く価値を創出する企…
- ・2026年度に売上高3,600億円・営業利益230億円、2029年度にROE10%以上達成を目指すGROWTH戦略を推進…
- ・モビリティ・バッテリー分野とディスプレイ・先端エレクトロニクス分野に資源を集中し…

証券コード 4634

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
3,500億円営業利益率
5.9%財務健康度
43点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 59.6（当サイト算出の参考指標）

平均年収
812万円

化学内 44位/204社

平均年齢
44.7歳

化学内 31位/204社

平均勤続
18.6年

化学内 29位/204社

女性管理職
6.2%

化学内 89位/173社

男性育休
98.4%

化学内 46位/154社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

